



キレイ新聞 夏号！



特集 紫外線対策！！

紫外線の特に強い季節になってきましたね。みなさんは日焼け止め、日傘など・・・さまざまな紫外線対策をしているかと思います。今回は紫外線についてと日焼け止めについて詳しくお話します。

☆紫外線について

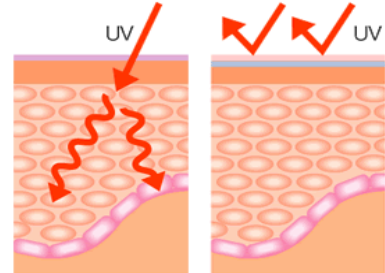
ずっと昔、地球にはオゾン層がなく、地上には強力な紫外線が降り注いでおり生物は地上では生きることができませんでした。紫外線は生命体を破壊させる強い威力があります。環境破壊によりオゾン層が崩されている今日、天気予報でも毎日、紫外線情報を発信していますね。(気象庁が毎時間発表) 具体的にお肌に与える影響としては、メラノサイト細胞が刺激され、メラニンを多量に発生させます。これがシミや皮膚がんのもとになります。さらに肌の表面組織を破壊し、たるみやしわなどができる原因となります。これらを「光老化」といいます。今や、紫外線は美容だけでなく、健康にも重大な影響を及ぼしています。だからこそ、きちんとした紫外線対策が必要になってくるのです。



☆日焼け止めについて

紫外線を防ぐ方法は2種類あります。一つは「酸化チタン」などの金属の微粒子を用いて紫外線を反射・散乱させる方法です。もう1つは、紫外線を赤外線などの別エネルギーに変換する作用を持つ化学物質(オキシベンゾン、ベンゾフェノンなど)を用いて紫外線を防ぐ方法です。前者は紫外線をブロックする時、化学変化を伴わないのでデリケートなお肌にも使用できますが、後者は皮膚上で化学変化を起こすため、カブレや赤みなど肌トラブルを引き起こすことがあります。*紫外線防御力の大きい製品のほとんどは後者の紫外線吸収剤が用いられていますので注意が必要です。

散乱剤(右)と吸収剤(左)の紫外線防御のしくみ



散乱剤は紫外線を鏡のように反射させて防ぐのに対し、吸収剤は吸収した紫外線を皮膚の中で熱エネルギーに変換して日焼けを防ぎます。

☆日焼け止めの正しい使い方

「日焼け止めを下地代わりにしています！」という声をよく聞きます。でもこれは間違いです。日焼け止めの成分は微粒子の金属なので、毛穴やキメに入ってしまうと、クレンジングでは取れません。これが**毛穴の開き**や金属の酸化による**シミのもと**になります。使う順番は①下地②日焼け止め③ファンデーションです。日焼け止めを使った場合は洗顔だけでなく、クレンジングをきちんとしましょう！

Aroma&美顔担当 YUKO
毎月お肌のお手入れさせて頂いています！
お気軽にご相談くださいね (*^_^*)

6月20日 ご予約承り中！